

暮らしを守る緊急対策



棚木 良一 議員

セーフティネットの拡充

町民の暮らしを守る 緊急対策について

棚木 100年に一度と言われる経済危機、雇用の確保と暮らしを守ることは、緊急の課題、町民や中小事業者の置かれている実態の把握と、その対策を示せ。特に誘致企業に対し派遣も含め雇用の継続を求め、下請に対する仕事確保を要請すること。

町長 昨春秋以降の金融経済等の落ち込みにより、町内企業とその労働者の皆様に深刻な影響を与えている。町としては、緊急雇用対策として、中小企業雇用安定助成制度をスタートさせています。又、新たな制度資金、経営安定特別資金セーフティネットを町内事業所が利用しやすいような体制で対応して、その実績は、平成19年3件に対し、平成20年は3月10日現在で30件を見ており、この傾向は増加するものである。今後とも国、県の緊急経済対策の積極的活用により、町内雇用の確保を図るよう努力してまいります。

高い国保税の引き上げはやめること

棚木 引上げ額は一人当たり4千円、一世帯一百万円町民の皆さんの負担は限界を越えている。一般財源から繰入しても町長は限度があると云いますが、町民の皆さんも限度がある。昨年同様一般財源から繰入をして引上げないで町民の暮らしを守っていただきたい。

町長 国保税は平成17年度に引き上げて以来今年度まで改正せずに運営してきました。しかし、それまで25.3%の伸びであった医療費が、12%を越える予想



集団検診

外の伸びになった。この為平成19年度、平成20年度で基金の大半を取り崩し、不足する財源については、一般会計から繰り入れて町民の負担増は回避させたところです。本来加入者の保険料で運営すべき国保会計に一般会計から繰り入れについては限界があるため、先般開催したまちづくり懇談会において、ご理解を頂いたところでです。

矢吹中学校の 改築問題について

棚木 私どもの予算要望書や町政座談会での町民の声、議会検討委員会の提言報告書など町長は真摯に受け止め、基本計画の変更も含め多岐にわたる判断材料を町民に提示し理解を求めている。補正予算に計上されている実施計画は合意を得るまで凍結すること。

町長 間近の財政シミュレーションにおいて、国で作成した地方財政計画より、



財政再建説明会

さらに厳しく見込んでもおおむね目標とする効果額に達成出来ると思われる、財源確保に見通しがついた。

教育長 平成20年12月に示された中学校の耐震性にはなほだ問題があり早急に改築し子供達の安心安全を確保したい。尚、建築構造については、矢中改築検討委員会の決定通り、基本設計は鉄筋コンクリート構造を想定しています。

町政を問う



吉田 伸 議員

人材育成の基本方針は！

能力と資質の向上を図る

矢吹町役場職員
の教育、指導、
育成の野崎町
長の基本方針を
伺う

吉田 財政再建に向かう矢吹町行政の実質的、実行者である職員の教育、指導、育成はどの様に考慮しているのか、又将来に続く人材育成の基本方針を問う。又、職員の対応はどの様な実態か伺う。

町長 組織経営の重要なポイントは、組織の共通の目的、目標達成に向けて取り組むことである。この為これまでの年功序列や形式的な平等主義など古い価値観を廃止し新たな組織理念・原理の確立に挑戦し続け真に町民の信頼にこたえられる人材を育成したい。又職務に積極的に取り組み、能力意欲の向上に自覚的に努める高い公務員倫理と民間発想を持った職員を基本姿勢とし、町民に目を向け、町民の立場に立って説明責任を果たす能力の開発や、資質の更なる向上に向けて人材育成に取り組んでおります。

10年に一度の不況といわれる経済不況、矢吹町に在する企業各社の現況と今後の行政対応はいかに

吉田 世界経済の同時不況、矢吹町の経済にも大きく影響するものと考えられる。又雇用問題も同時に発生する。行政にかかわる大きな問題、企業各社の現在の状況は。又今後の見通しは。又行政の対応はどの様に考えるのか伺う。



町内企業訪問

町長 町内にある製造業の現況については、工場実態調査等により毎年の状況を把握しているが、昨年初以降の経済情勢の変化に伴

う各社ごとの厳しさの現状については情報把握が難しく、正確な情報がかみにくい状況です。一部の工場においては残念ながら深刻な事態にならざるを得ないとの情報もあるが、少しでも改善していくために、本社等へ要請活動を積極的に行うとともに、町独自の雇用安定助成制度の創設など必要対策を講じている。農工商連携等を基盤にした産業振興政策、雇用対策等を積極的に推進していきたい。

矢中建設にともない栗林教育長の平成21年、教育長としての基本方針を伺う

吉田 栗林教育長の教育行政の指針を伺う。平成21年より矢中建設に入るとの考え、教育長としての今後の基本的判断を聞き又教育委員会の指針をただす。同時に建設に入った場合の教育委員会の現在の状況を質問する。



矢吹中学校

教育長 基本方針の第一は生涯学習の振興です。第二は学校教育の振興充実です。毎月の授業充実のため指導主事を設置したい。教育委員会では事務の管理及び執行状況について点検、評価し、その結果を来年度より議会に提出し、公表します。

教育委員会の人員構成につきましては、平成21年度は現状の人員であっても、22年度以降につきましては、人員増を強く要望して考えて行きます。今後共に町当局並びに議会の賛同と御指導をお願いいたします。